

竹沢うるま



旅は「生きる」という作業

「大地」を撮る103か国1021日間

2016.11.10
16:30~18:00

「世界は広い。僕らが思うよりはるかに広く、そして深い。

広さは大地の広さであり、深さは人の心の深さである」

北米をはじめ、南米、アフリカ、そしてユーラシアへ。

カメラと数本のレンズ、そして身の回りの小さな荷物を背負い、

『大地』に出会うため、3年弱、5大陸、103の国を旅へ。

世界を一周してきた竹沢うるま氏に「生きる」とはどうか、

旅する意味とは何かについて語っていただきます。

2016年11月10日 | 木 | 16:30~18:00

会場 大隈ガーデンハウス(25号館)1F

対象 早大生・教職員・一般

言語 日本語

参加費用 無料

事前登録 不要(先着順・立ち見可)

TOTRAVELISTOLIVE
Portraying the globe
103 countries and 1021 days

TAKEZAWA URUMA

ICC Talk Session

主催
WASEDA University
International Community Center
早稲田大学国際コミュニティセンター
TEL: 03-5286-3990
E-mail: icc-talk@list.waseda.jp

1977年生まれ。同志社大学法学部法律学科に入学。
在学中、沖縄を訪れて海の中の世界を初めて見て驚き、
自身が感じて感じたことを記録に残そうと写真始める。
その後、アメリカ一年滞在を経て、独学で写真を学ぶ。
卒業後、ダイビング雑誌のスタッフフォトグラファーとして
水中撮影を専門とし、2004年より写真家としての活動を本格的に開始。
そして2010年から2012年まで、1021日をかけて103か国を巡る旅をする。
現在、新たな巡礼「Kor Laj」の写真展をキヤノンギャラリーにて開催中。

